



ロータリー：
変化をもたらす

広島中央ロータリークラブ
2017～2018年度
事業計画書

【2017～2018年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2017.7.1-2018.6.30)

会 長	(理事) 嶋本 文雄	奉仕プロジェクト	(理事) 松村 公市
直前会長	(理事) 黒瀬真一郎	ロータリー財団	(理事) 杉本 嘉朗
会長エレクト	(理事) 古澤 幸治	クラブ広報	(理事) 新宮 勝則
副会長兼会員組織	(理事) 竹川 誠一	クラブ管理運営	(理事) 下原 千夏
副会長	(理事) 太田 茂	会 計	(理事) 澁谷 紀子
幹 事	(理事) 砂田 恭延	S.A.A.	(役員) 三宅 朗充
副幹事	長場 誠		
副幹事	大坂 隆志		

■会員組織委員会

理事・委員長 竹川誠一

* = 兼務

	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	福田 浩	村本憲康	緒方俊平	橋本 満	小佐古哲哉	山野井秀樹*
ロータリー情報(研修リーダー)	大久保雅通	山野井秀樹	吉川修平	土肥博雄	神田英治	宗正俊文*

■奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 松村公市

	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	山本昌弘	大田由孝	柚木 宏	浜田逸郎	出崎邦彦	土谷治子
人間尊重・社会奉仕	山肩俊晴	椿 和央	熊野 巧	前原恒泰	下原千夏*	大井太郎
国際奉仕	尾形 聡	池田繁実	城本健司	田中純子	藤原佐枝子	七枝敏洋*
青少年奉仕	西井裕昭	七枝敏洋	徳見泰司*	平松恵一	黒瀬真一郎*	吉川 恵
			村上恒二	芥川 宏*		
ローターアクト委員会	西井裕昭*	松田 隆*	前原恒泰*	吉川 恵*	村上恒二*	芥川 宏*
			田中純子*			

■ロータリー財団委員会

理事・委員長 杉本嘉朗

	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	児玉哲郎	宗正俊文	吉川修平*	鳥井均城*	長場 誠	松田 隆*

■クラブ広報委員会

理事・委員長 新宮勝則

	委員長	副委員長	委員			
クラブ会報・資料保存	淀江晃太郎	松田 隆	通谷 章	頼岡徳在	中野忠昭	好永裕一*
広報	栗井孝二	岡田 茂	金井征男	吉清有三	上原悠爾	城川大二郎
I T	松井竜宣	大内総一郎	城本健司*	土谷治子*	大坂隆志*	上田 恵*

■クラブ管理運営委員会

理事・委員長 下原千夏

	委員長	副委員長	委員			
出席	上田 恵	木下三枝子	柳川寿子	柳田実郎		
親睦	鳥井均城	好永裕一	中野忠昭*	宗正俊文*	尾形 聡*	西井裕昭*
			淀江晃太郎*	三宅朗充*	児玉哲郎*	岡田 茂*
			大田由孝*	大内総一郎*	上田 恵*	椿 和夫*
			古川善也*	七枝敏洋*	大井太郎*	
プログラム	芥川 宏	戸田幹雄	神保 紘	榎崎哲也	山野井秀樹*	池田繁実*
S. A. A.	三宅朗充	栗井孝二*	木下三枝子*	松井竜宣*	児玉哲郎*	岡田 茂*
			古川善也			
会計	澁谷紀子	徳見泰司	河野 隆	小佐古哲哉*		

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	嶋本文雄	砂田恭延	原田啓吾	徳見泰司	黒瀬真一郎	大久保雅道
			尾形 聡	澁谷紀子		
戦略計画委員会	吉川 恵	福田 浩	田原榮一	赤羽秀克	前原恒泰	吉川修平
がん予防啓発推進委員会	古川善也	藤原佐枝子	赤羽秀克	藤村欣吾	迫田勝明	前原恒泰
		土肥博雄	古澤幸治	平松恵一	吉川 恵	山肩俊晴
		松村公市	土谷治子	柳田実郎	児玉哲郎	
			尾形 聡 (事務局長)			

- 会計監査委員 原田啓吾
○合同事務局運営委員 砂田恭延

理事・委員長 竹川 誠一



1. 方針

広島中央 RC は田原ガバナー年度に目指していた会員数 80 名を数え、公式訪問、地区大会等、全会員の力を結束して邁進してきました。

本年度は「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」という会長方針のもと、来る 40 周年に向けても更なるクラブの発展が求められます。

奉仕活動、例会、同好会、家族会等、クラブの活動の原動力は「人との交流」「奉仕の喜び」であり、それを全会員が楽しめる魅力ある場作りがクラブの活性化に欠かせないものと考えます。

2. 計画

- ・会員数は純増3名を目指し、新しい分野への会員増強も積極的にアプローチしていきます。
- ・研修セミナー、ファイヤーサイドミーティングの充実に加え、新会員の同好会への入会も積極的に促します。

会員増強・職業分類

委員長 福田 浩



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、親睦を深め、奉仕とともに実践するさらなる仲間づくりを推進する。また、新旧会員に目配りをしながら、退会予防に努める。

2. 計画

- ①適正規模について、中長期的な計画を考える。
- ②本年度は、純増3名を目標とし、会員83名体制を目指す。
- ③職業、年齢及び性別に偏りがないう会員増強に取り組む。
- ④偏りがなく、会員ひとりひとりが推薦するような雰囲気づくりを検討する。
- ⑤入会候補者の例会への歓待、入会式、入会後のフォローアップなど一連の流れについて、検討する。
- ⑥具体的な退会予防策を検討して、実施する。

3. 予算 50,000 円

ロータリー情報

委員長 大久保 雅通



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、新会員へはわかりやすいインフォメーションを、入会3年未満の会員にはロータリーへの理解をさらに深めていただけるよう、戦略計画委員会と連携しながら各種の活動を実施します。

2. 計画

- ①入会予定者には推薦者とともに訪問し、ロータリーへ興味を持っていただけるよう、わかりやすくインフォメーションを実施します。入会後も推薦者とともに、新会員のフォローを行います。
- ②戦略計画委員会と連携し、入会3年未満の会員を対象に、クラブ研修セミナーを年2～3回実施します。できるだけホットなテーマを取り上げ、ロータリーに関する知識を深めるだけでなく、会員同士の親睦・交流を深めるような研修を企画します。
- ③新会員を対象に、少人数でのファイヤーサイドミーティングを実施します。クラブの雰囲気をも早く知っていただき、クラブの一員としての一体感を持っていただくため、気軽に話し合えるミーティングを企画します。

3. 予算 50,000 円

理事・委員長 松村 公市



1. 方針

嶋本会長方針「チャレンジ、感謝されるロータリアン！」を実践するために、奉仕プロジェクト委員会としての実践ではなくクラブ会員全員での取り組みができる環境を作ることチャレンジしたいと考えます。

「言葉では発しられない感謝の気持ちを受け止めることのできるロータリアン」として奉仕の実践に取り組む為に、各委員会の事業内容を例会や広報などで会員に十分な周知・理解を深めることで、奉仕活動にチャレンジしていただく環境を作りたく思います。

従前からの継続事業の再検討することで、新たな事業への取り組みに注力し、更なる当クラブの歴史と伝統を積み重ねることで、会長方針実践に結び付けたいと考えます。

2. 計画

- ①戦略計画委員会、ロータリー財団委員会、クラブ広報委員会等関係委員会と協働し、短期、長期計画に基づく活動を展開します。
- ②地区補助金事業は、今年度より新たなる支援活動をスタートさせることとなりますが、今年度において、地区補助金事業の次なる支援申請の要望・アイデア等を会員に募り、弱者への支援に偏りがちな地区補助金を幅のある議論を通して、3年後の申請に向けたスタートをさせていただきます。
- ③「マイカー乗るまあデイ PR 活動・献血支援活動」は、当クラブの目玉事業として定着し、地域社会に貢献してきていますが、更なる工夫で、より楽しく、より地域社会に貢献できるように努力いたします。
- ④今年度から新たに広島中央ローターアクトクラブが設立され、運営されますが、ローターアクト倶楽部の継続は、厳しい現実があり、会員増強を絶えず出来る、魅力ある広島中央ローターアクトクラブとして、会員企業のサポートが必要となりますので、協力していただける環境整備に注力致します。
- ⑤パオにおける国際奉仕活動のグローバル補助金採択の年度となり、国際奉仕委員会だけでなく、全会員のご協力を得て、採択されることに全力を挙げます。

職業奉仕

委員長 山本 昌弘



1. 方針

職業奉仕の立場から、会長方針の「チャレンジ、感謝されるロータリアン！」を実践するために、会員が各々の職業や社会生活を通じて、職業奉仕とは何かを模索し、それぞれの職業を通じた地域社会へ“奉仕を行っている”という実感が少しでも持てるような取り組みを行いたい。

2. 計画

- ①ロータリーの倫理基準を簡潔にまとめた、職業奉仕の実践的指標である「四つのテスト」と一昨年 10 月に改正のあった、「ロータリアンの行動規範」の唱和をそれぞれ月替わりで実施する。
- ②職業奉仕月間に職業奉仕に対する理解を深めるための勉強会と職場訪問例会を実施する。
- ③プログラム委員会と連携し、ロータリーの職業倫理を学び合う機会として、会員卓話の実施を図る。
- ④職業奉仕の原点である会員の健康の保持増進のため、健康診断の斡旋を行う。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集と表彰を行う。

3. 予算

一般会計	100,000 円
ニコニコ箱会計	100,000 円

人間尊重・社会奉仕

委員長 山肩 俊晴



1. 方針

基本的には、広島中央ロータリークラブの先輩が築いてこられた諸行事を踏襲いたします。

改めて考えてみますと「人間尊重」という言葉は、人間社会を営む上ではもっとも基本的な唯一無二の概念だと思われま。

世界人口が 72 億を超える現状では、資源の枯渇による飢餓をはじめ、超大国の相克、国内外での民族対立、独裁国家での人権弾圧、異民族支配による少数民族の浄化と称する淘汰など、人間尊重とは程遠い政策が実行されています。さらには貧困による人間性の否定、宗教問題の対立など、数えきれないほどの問題が山積しています。

全世界のロータリアンが「人間尊重の大合唱」をして、世界各地の権力者に届くように春の夜の夢を見ている。

2. 計画

- ①従来通り知的障害者、身体障害者の支援を継続します。
- ②献血活動に力を入れます。会員、家族、従業員、ボランティアの学生さんたちと協力していきます。
- ③マイカー乗るまあデーのキャンペーン
- ④8月6日の平和式典の参加者に対するサービス
- ⑤エコドリム運動は、10 年の節目を迎え継続の可否を検討します。
- ⑥その他、会員の英知を集めて、新しいボランティアができるかどうか考慮中です。

3. 予算 1,500,000 円

国際奉仕

委員長 尾形 聡



1. 方針

広島中央ロータリークラブの会員の保有する専門性を活かした活動をすることにより、国際社会に健康、教育、青少年育成、交流の観点から貢献し、平和な社会作りに寄与することを基本方針とします。

従来から広島中央ロータリークラブとして行っている国際奉仕活動の継続に加えて、他のクラブとの連携事業

の検討やわがクラブ初のグローバル補助金獲得に向けて計画案を作成します。

2. 計画

- ①パラオでの国際奉仕活動や医療支援活動を継続します。
パラオ教育省、JICA、在パラオ日本大使館、パラオロータリークラブ、NPO 法人日本パラオ協会、公益財団法人広島国際センターと連携し、共同で補助金を獲得しパラオでの学校給食改善による生活習慣病予防活動を行います。
- ②グローバル補助金を交際ロータリー本部に申請します。
パラオロータリークラブ・パラオ教育省・JICA（日本国際協力機構）と協議の上、2710 地区ロータリークラブを通過したグローバル補助金事業を国際ロータリー本部に申請し、World Fund の獲得を目指します。
- ③カンボジアでの医療支援活動を継続します。
広島大学と連携しカンボジアにおける肝炎予防対策事業を支援します。
- ④姉妹クラブとの交流
台中西区ロータリークラブとの交流ならびに共同した奉仕事業を検討します。
- ⑤古切手、書き損じはがき等の収集の継続
発展途上国の女性や子供達を支援する国際奉仕活動を行います。
- ⑥他のクラブとの連携事業を検討します。

3. 予算 530,000 円

- ①パラオでの国家事業支援
学校給食改善事業ならびに学校検診事業にかかる設備費用（28 万円）
- ②カンボジアにおける疾病予防活動支援（10 万円）
健康診断に必要な物品の購入
- ③台中西区ロータリークラブとの交流、国際ロータリー関連諸費用（5 万円）
- ④他クラブとの連携事業（5 万円）
- ⑤その他、緊急事案への対応（5 万円）

青少年奉仕

委員長 西井 裕昭



1. 方針

ロータリークラブの定款には、「奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育み交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」と記載されています。会長方針の「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」に基づき未来を担う青少年が身に付けるべき資質を検討すると

同時に、資質向上を図ります。

2. 計画

- ①2010 年から継続して開催している「献血、マイカー乗るまっデー街頭募集」を引き続き会員・大学生・会員家族・従業員と協力して行います。
- ②地区のローターアクトクラブ例会や R Y L A に出席し青少年会員と交流し意見交換を行い、青少年に対する奉仕について効果的な活動を検討します。

3. 予算

一般会計	100,000 円
ニコニコ会計	200,000 円

ローターアクト

委員長 西井 裕昭



1. 方針

ロータリークラブの五大奉仕の青少年奉仕に関して、広島中央ロータリークラブが昨年立ち上げた広島中央ローターアクトクラブを、会長方針「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」に基づき青少年の指導力開発・社会奉仕・国際奉仕等、未来を担う青少年資質向上の場となるよう活性化させて参ります。

2. 計画

- ①2017 年に立ち上がった広島中央ローターアクトクラブがアクト会員にとって成長の場となるように活性化させます。

3. 予算

一般会計	900,000 円(補助金)、700,000 円(チャーターナイト費用)
------	--------------------------------------

理事・委員長 杉本 嘉朗



1. 方針

ロータリー財団の設立目的である「世界でよい事しよう」を実践するためにロータリー財団に対する会員の理解を深め、協力をお願いする。

また、主にアジア地域からの米山奨学生を支援し、日本とアジア諸国の掛け橋となる人材育成に貢献する。

2. 計画

- ①財団月間に卓話の時間を利用し、財団に対する理解を

深める為の事例紹介を行う。

②グローバル補助金については引き続き支援を行う。

③奉仕プロジェクト委員会と協力し、地区補助金事業を計画立案推進する。

④ファイアーサイドミーティングにおいて、新入会員にロータリー財団、米山奨学金に対する理解を深めるための説明を行う。

ロータリー財団・米山奨学委員

委員長 児玉 哲郎



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、「世界でよいことをしよう」という目的で設立されたロータリー財団、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生を奨学することを目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めていただき、以下の計画を達成する

2. 計画

①クラブ例会時の委員会報告や卓話時間を利用して、ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。ロータリー財団は 2017-18 年度に新たな 100 年に向けてスタートする。

ロータリー財団については、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する冊子を作成し、配布する。また、「ロータリー財団と寄付」改訂版（2017-18 年度）も作成する。計画・立案中のグローバル補助金の獲得に向けて、他クラブの活動事例を紹介、参考とする。

米山記念奨学会については、DVD を例会時に鑑賞していただくことを企画するとともに、新たに冊子を作成することを検討する。

②ロータリー財団と米山記念奨学会の寄付目標が達成できるように活動する。11 月の財団月間には、第 6 回ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施し、3 名以上を目標に全会員に対して協力要請を行う。また、米山功労者は 1 名を目標とする。ポリオプラス活動の推進のため、愛のコイン箱の寄付金目標額を達成するよう努力する。

③本年度新たにスタートする地区補助金対象事業について、奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに、地区補助金の給付を受ける。

④2017-18 年度、広島大学大学院博士課程のフェレイロ・ポッセ・ダマソ君を米山奨学生として 6 ヶ月間受け入れる。例会時に卓話を、またクラブの活動やイベント等にも参加していただく。

3. 予算

一般会計 200,000 円

ニコニコ会計 300,000 円

理事・委員長 新宮 勝則



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、執行部又各委員会と連携しながら、広島中央ロータリークラブの活動及びロータリークラブの諸活動について、委員会のメンバー全員参加でクラブの内外に情報発信していく。

2. 計画

「ロータリーの友」を月一回委員全員で紹介する。

写真撮影等も、極力、委員全員参加で行う。

「クラブ会報・資料保存」

クラブ会報誌については、当クラブの様々な活動をコンパクト且つタイムリーにまとめて発信します。また IT 委員会と連携し、HP を活用してクラブの内外に当クラブの魅力を発信する。資料保存については IT 委員会と連携し、当クラブの HP 内に保存していきます。

「広報」

本年度予定されている当クラブの奉仕活動について、早めの情報収集をしてマスメディアに提供し、より広く有意義な情報発信をしていきます。

「IT」

前年同様にクラブ会報・資料保存委員会と連携して、当クラブの活動を HP にタイムリーにアップし情報発信をするとともに、HP 内で資料保存をする。

又、国際ロータリーの活動もクラブ内に発信し、マイロータリーへの登録・利用促進を図る。

クラブ会報・資料保存

委員長 淀江 晃太郎



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、クラブの活動及びロータリークラブの諸活動について、委員会のメンバー全員参加でクラブの内外に情報発信していく。

会員の皆様に喜んでいただき、感謝される会報の作成を作成し、クラブ内外に情報発信していきます。

2. 計画

サイズ、ページ数、発行日（翌月の第3例会）等は従来どおりとし、表紙は当該月の代表的な写真やロンガルス同好会のメンバーの方の作品を掲載予定です。写真撮影などの業務はクラブ広報委員会のメンバーで連携して滞りなく行ないます。

3. 予算 2,000,000 円

広 報

委員長 栗井 孝二



1. 方針

会長方針の「チャレンジ 感謝されるロータリアンに！」に基づき、本年度予定されている当クラブの奉仕活動について、各委員会と連携しクラブ内外に情報を発信し当クラブの認知度向上を図る。

2. 計画

- ①早めの情報収集を行い、正確な情報を発信するよう努める。
- ②出来るだけマスメディアに取り上げてもらえるようにタイムリーなPR活動をしていく。
- ③引き続き「ロータリーの友」の「ローターアットワーク」へ投稿する
- ④広報媒体としては、引き続き全国紙5社（朝日、読売、毎日、産経、日経）に地元紙2社（中国、山陽）テレビ5社（NHK、RCC、広島テレビ、ホームテレビ、TSS）通信社2社（共同、時事）の計14社とする

3. 予算 50,000 円

I T

委員長 松井 竜宣



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ、執行部又各委員会と連携しながら、広島中央ロータリークラブの諸活動、実践とその意義や楽しさについて、クラブ内に伝えるだけでなく他クラブやその他外部にもアピールし情報発信をしていく。

2. 計画

クラブ会報・資料保存委員会や広報委員会と連携して、当クラブの様々な活動をクラブHPに定期的にアップし

ていき、情報発信をしていくとともに、これまでとは違った形で資料保存を行っていく。

「IT」

前年度までに築き上げたクラブHPを刷新により維持管理及び充実・定期的更新・各種活動・行事の資料・書類・写真の保存を各種委員会と協調及び協力し、また地区委員会の方針に従い RI Web サイトの MyRotary への会員アカウントを促進する。

3. 予算 1,000,000 円

理事・委員長 下原 千夏



1. 方針

会長方針の「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」に基づき、ホーム例会を更に楽しく、会員が語り合える場にしたいと思います。具体的なチャレンジとしては、配席やプログラムに新旧会員の交流を計らうための取り組みを行う事。そして、他クラブの会員のメークアップ時のおもてなしの工夫等、これまで以上に親睦を深めることの出来る例会を目指したいと思います。また、花火、野球観戦、クリスマス等の家族に参加して頂くイベントにも、引き続き会員と家族全員が楽しめる場を提供したいと思います。

2. 計画

会長方針を達成するためには、クラブ管理運営委員全員がチームワークを持って、それぞれ委員会活動を行うことが重要と思います。各委員会が情報共有し、一体感が持てるような体制づくりを心掛けたいと思います。

出 席

委員長 上田 恵



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」を踏まえ出席委員会として、まずはホーム例会へ一人でも多くの会員の皆様に参加していただけるように、他の委員会との報連相を密にしていく取り組みを行っていききたいと思います。

それとともに、やむを得ず例会を欠席された方には、メイキャップ等の案内の連絡を取らせていただきたいと思います。

2. 計画

- ・例会での出席報告を速やかに行えるように、委員間での連携を取りたいと思います。
- ・月末の例会時の出席報告の際に、翌月の行事の案内を行いたいと思います。
- ・例会を欠席された会員の方には、メイキャップの案内と共に、eクラブの案内もしたいと思います。
- ・会員の皆様が楽しんで出席したくなるような例会づくりのため、他のロータリークラブの例会進行なども勉強したいと思います。

3. 予算 200,000 円

親睦委員

委員長 鳥井 均城



1. 方針

会長方針である「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」に基づき、過去の事業に基づきながらも、新たな試みにチャレンジし他委員会とも協調性を持って、会員相互の関係をより深いものとなるよう活動していきます。

2. 計画

例会時にお客様、ゲストのお出迎え、SAA との連携によりご案内。家族例会、夜間例会は、役割を分担。本年度7月22日花火大会、例会は行わない（ガバナー公式訪問日程により）

主な事業

- ① 7月22日土曜日 親睦会 家族会
(花火大会) プリンズホテル広島
- ② 8月 1日火曜日 夜間家族例会
(カープ観戦) Zoom Zoom
- ③ 11月27日月曜日 夜間例会
(創立39周年記念例会) リーガロイヤル
- ④ 12月25日月曜日 夜間例会 家族会
(クリスマス) プリンズホテル広島
- ⑤ 6月25日月曜日 最終夜間例会
(点鐘引継) 半べい

*新入会員歓迎会 随時開催

3. 予算

*夜間例会・家族会等補助 3,500,000 円
*会員記念日費用 800,000 円

プログラム

委員長 芥川 宏



1. 方針

会長方針「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」に基づき、新たな例会プログラムへのチャレンジを試みるとともに、入会歴の浅い会員の占める割合が多いことにも鑑み、ロータリーについての知識習得、当クラブの特色の継承、会員相互の理解が深まることによる親睦と友情の深化が図られるよう配慮していく。

2. 計画

新入会員の自己紹介や各委員会の活動報告に関する卓話に加え、経済・行政活動や、文化・芸術・スポーツ活動などの様々な分野に関して硬軟織り交ぜたものも実施し、ロータリー特別月間も意識しながらプログラムを計画する。また、会員による卓話（リレー卓話も含む）も検討をしていきたい。

3. 予算 300,000 円

S.A.A.

委員長 三宅 朗充



1. 方針

嶋本会長の「チャレンジ、感謝されるロータリアンに！」の方針を踏まえ、各委員会と連携し例会運営が会員の皆様にとって好意と友情を深め、楽しい例会になるよう、新しい挑戦を目指した例会運営に努めます。

2. 計画

- ①禁煙例会にチャレンジします
- ②ゲスト・来客の方に最大限のおもてなしを実施する仕組みをつくります
- ③例会を会員交流の最大の場と捉え、会員の交流が図れる場となるようチャレンジします
- ④ニコニコ BOX に、多くの会員が楽しく投稿できる仕組みをつくります
- ⑤年間行事に関し、親睦委員会をはじめ、関係する全ての委員会と連携し行事の遂行の一助となります

3. 予算 100,000 円

会 計

委員長 澁谷 紀子



1. 方針

昨年度までの資料を参考に、行事や活動を把握して、実情に沿った予算編成をアドバイスしていきたいと思います。

2. 計画

親睦会等の行事が前半に集中しているので、年度前の予算編成を重点的に行い、12 月中に後半の予算について再考すべきものがあれば検討する予定です。

委員長 嶋本 文雄



1. 方針

「広島中央ロータリークラブ国際交流基金」は、クラブ 10 周年記念行事として創立され、その後追加の 500 万円を加え現在 1000 万円である。この基金より発生する果実をもって広く国際交流への支援を行うものとなっている。現在運用利息は 282,446 円である。

2. 計画

現在まで運用利息が、わずかであるためほとんど利用されておらず、今後今の規約を改正して、国際交流の支援を会員の意見を幅広く取り入れて行うようにする。

まず特別委員会を招集して規約の改正等について検討する。

委員長 吉川 恵



1. 方針

会長が掲げられている「元気なクラブづくり」へチャレンジする。そのため、中長期視点に立った活動や事業を推進してゆく。

2. 計画

①「クラブの健康チェック」のアンケート結果内容をもとに、各会員がこぞって参加できる活動や事業を立案推進してゆく。

②奉仕活動 奉仕プロジェクト委員会と協働により

- (1) 設立した広島中央ロータリークラブの立ち上げ支援
- (2) マイカー乗るまっデー・献血支援活動の充実のための支援
- (3) グローバル補助金獲得のための支援活動

③会員増強 会員組織委員会との協働により

- (1) 3 年未満会員への研修セミナーの開催
- (2) 新入会員へのファイアーサイドミーティングの開催

④会員増強 会員組織委員会との協働により

- (1) 2016 年規定審議会決定のクラブ運営の柔軟性に関して理解を深める
- (2) 家族例会や会員活動へ家族の参加推進

3. 予算 100,000 円

委員長 古川 善也



1. 方針

前年度からの予防推進事業を引き継ぎ発展させる。具体的には、2017 年度の目標として「地域に対するがん予防の啓発活動」を行う。

すなわち、昨年同様本会メンバーを中心にがん予防の啓発を図る。さらに、学校・企業に対する出前講座を行うこととするが、特に青少年に対する禁煙教育と、企業及びその企業の属している地域コミュニティーの方に、がん一次予防、二次予防の啓発を行う。

2. 計画

- ①会員のがんに対する「意識」「関心」を把握し、向上させるために、アンケート調査を引き続き実施し、昨年度と比較する。
- ②「がん」に対する卓話をを行い、「がん予防」に対する啓発を行う。
- ③会員個々の「がん予防」意識を高めるために 2～3 ヶ月おきにがん予防 12 箇条の確認を調査票で行う。
- ④昨年に引き続き崇徳高校に出向き、「がん予防」特に禁煙に対する出前講義を行い、「がん予防」「禁煙」意識を若年時に植え付ける。
- ⑤がん拠点病院主催の市民講演会開催ポスターを、ロータリーに属する各企業に貼ってもらう等の協力を行う。
- ⑥企業と可能であればその属する地域住民に対し、出前講義をすることにより、がん予防・健診情報を伝える。
- ⑦企業の産業医となっている医師は、その企業内での講習会で「がん予防」「禁煙」の講義を行う。
- ⑧広島県と連携することで、中央ロータリーとして「がん予防」に協力できないか検討する。

3. 予算 80,000 円